


自治会報	 HP	<h1>かけはし</h1> <p>〔第2つつしが丘自治会と「会員」の「はしわたし」〕</p>	No 044
			2023年 12月 27日 発行責任者 自治会長 山田 俊克

2023年（令和5年）は、皆さんにとってどんな年だったでしょうか！新型コロナウイルス感染症も収束方向にあり、世界中への往来も活発になった一方で争いごと（アフガニスタン紛争、シリア内戦、クルド対トルコ紛争、リビア内戦、イエメン内戦、ウクライナ侵攻、パレスチナ自治区ガザでイスラム組織ハマスとイスラエル軍戦闘等）の多い年でした。

また、私たちに影響を与える物価が高騰し、政府の経済対策も揺れた一年だったと思います。流行語大賞は「アレ」、漢字は「税」が選ばれました。2024年は、辰年「龍の如く猛々しく、新しいことに挑戦する年にしたい」と思われる方もいることでしょうか！辰年である2024年7月には、国内で20年ぶりに新デザインの紙幣が発行されます。『龍の金運力！』にだまされないようにしたいものです。2023年は自治会活動にご協力・ご支援を賜り、一年無事に終えることができ感謝申し上げます。

2024年も自治会員に有意義な自治会となるよう専門部一同邁進してまいります。

寒さ厳しき折からご自愛の上 ご活躍のほどお祈り申し上げます。

「自治会」からのご連絡

1. 年末年始のゴミ出し日の確認及び集積所に出せるもの出せないものを確認して未回収状態にならないようにお願いします。
 2. 12月5日に防災井戸の水質検査を実施致しました。結果については、後日報告致します。
 3. 牛久市社会福祉協議会からの75歳以上の独居の方に「歳末ふれあい便」配布を民生委員の方より行って頂きました。
 4. 区民会館玄関へ松飾を12/27から1/7まで行っています。散歩しながら来館ください。
- 公園里親が平成18年から活動を始め、令和5年10月時点で、300回（18年）を超えたそうです。感謝申し上げます。
 - 師走を迎え、1年を振り返る間もなく新年号となりました。

自治会長の「年頭の挨拶」については、別紙にて配布させていただきます。

【福祉・厚生部部】からのお知らせ

- ◎「年忘れお楽しみ会」には、大勢の会員様方の来館を頂き、ゲーム、演奏会などを楽しんで頂きました。
- *自治会員他の方々に、野菜販売・演奏会への参加頂きありがとうございました。
- また、班長・専門部の皆様から、今年最後のイベントへの協力を頂き無事終了致しました。
- 今後も、自治会員の皆様に喜んで参加頂けるように、努力致しますので皆さんのご協力・ご支援を宜しくお願いします。**

【環境・会館施設部】からのご連絡

2024年（令和6年）1月の区民会館（室内・屋外）の清掃、班長会議の会場設営を、次の通り予定しています。

日 時	担当地区	3地区1, 2, 3班	区民会館	ホール・事務室・洗面所
1月21日（日）9時30分まで集合	実施責任者	班長（3地区4班）	清掃	（トイレ含む）会議会場設営

●自主防災会より 【合同防災訓練報告】

12月3日曜日に、二小学区地区社会福祉協議会主催の合同防災訓練を実施しました。
大規模災害時の「二次避難所」として、牛久第二小学校が「指定」されています。二次避難所指定行政区は、5行政区あります。
「エスカードビル、本町、田宮、つつしが丘、第2つつしが丘」となります。新型コロナウイルス感染症の影響で避難訓練等が中止されてきましたが、今年度は実施することができました。実施結果を以下の通り報告します。

① 全体参加人数＝233名	② 第2つつしが丘状況：参加者＝126名（11%） ◎ 訓練全体参加者の54%
◎炊き出しは田宮行政区担当	●「無事です」カード掲出＝146世帯（34%）*今一度訓練への参加を考えて下さい。

よもやま話「四方山話」 「自立した晩年＝人生100年時代を楽しく過ごすには！」

人生100年時代とは、平均寿命が伸び100年生きるのが当たり前になる時代という意味の言葉だそうです。人生100年時代とはロンドン・ビジネス・スクール教授のリンダ・グラットンとアンドリュー・スコットが、ライフ・シフト 100年時代の人生戦略（東洋経済新報社）で提唱した言葉。寿命の長期化によって先進国の2007年生まれの2人に1人が103歳まで生きる「人生100年時代」が到来するとし100年間生きるとを前提とした人生設計の必要性を論じている。**これまでの人生設計は「20年学び、40年働き、20年休む」という「教育・仕事・老後」の3段階が一般的であったが、100歳まで生きることが一般化する社会では、年齢による区切りがなくなり、学び直しや転職、長期休暇の取得など人生の選択肢が多様化すると予想したようです。**
”「人生100年時代」という言葉は、医学博士の日野原重明氏が2002年頃から使用”しているそうです。《後半へ続く》

自治会 会員状況 (行政区)	R5年度 自治会会員数(12/1現在)	転入/入会	転出/退会	訃報	2023年 12月 1日現在	
	4 3 3 (世帯)	8	3	7	発行編集	自治会総務部
	第2つつしが丘 令和5年 12月1日現在516世帯 男 535女593人 合計1,129人				市人口	世帯数
	人口1,129人＝65歳以上582人(男263人、女324人)で高齢化率51.6.%です。				84,110人	38,435世帯

自治会の必要性をご理解の上、自治会維持のため「専門部」への入会をお願いします。

お知らせ掲示版	【自治会寺子屋開催連絡】
* 2024年1月28日(日) 「第1回自治会健康麻雀大会」を開催	
*見学・応援自由参加です。お静かに見守って下さい。	

寺子屋『塾長』募集「個人・グループで何がしかの発信をしたい方」是非お持ちの知識・技の披露を！

自治会の「回覧」情報については、ホームページに『回覧』のタイトルで掲載しています。

◎ 盛人式＝市社会福祉協議会主催行事 *65歳になられた方へ第二の社会デビューとして各地区社協での活動を紹介している
*** 2023年の対象者は約900名でしたが、出席者は30名だったそうです。第二の人生は幾つからなるのでしょうか？**

【豆知識】 『十二支としての辰について』

ある日、神さまが「毎年同じ暦ではつまらない」と、1年に1つずつ計12の動物たちの名前をつけることを思いつきました。本当でしょうか？ 干支については、「かけはし」No19号で『十干（じっかん）とは？』で記載させて頂きました。

干支と十二支の関係を読み返して頂ければと思います。2024年（令和6年）は辰年です。動物にあてはめると竜（龍）ですが、竜は**十二支で唯一の想像上の動物**なので、わからないことも多いですね。「辰」とは、**十二支では、5番目**（辰の方位は、東南東）

●辰の刻は、午前8時を中心とする約2時間（7時～9時） ●辰の月は、旧暦3月 ●陰陽は、陽

◎干支の「辰」という字の成り立ちについて

「辰」という字は「蜃（しん、はまぐり）」の原字で、二枚貝が足を出して動いている形態を表しており、肉片などが動くという意味があります。中国の『漢書 律曆志』では、辰は「ふるう、ととのう」を意味する「振」で、陽気が動いて万物が振動し、草木もよく成長して形がととのった状態を表すと解釈されています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているので、十二支の5番目に、草木の形がととのった様子を表す「辰」がきます。

◎2024年の干支の「辰年・たつ年」の特徴

辰年は陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。

また、たつ（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。

2024年の干支の「竜・龍」についての豆知識

「竜」は常用漢字で、「龍」は旧字体。「竜」は「龍」の略字ですが、古字でもあります。竜は古代中国の神話で神獣とされているので、中国では皇帝のシンボルとなっています。そのため、竜顔＝帝王の顔、竜衣＝帝王の衣服、竜影＝帝王の姿など帝王にまつわるものには竜がつくことが多く、最上級の意で竜を用いることもあります。

また、竜は四神（青竜、朱雀、白虎、玄武）のひとつで、水中に棲むとされ、なき声で嵐や雷雲を呼び、竜巻となって昇天し、飛翔します。竜の姿は「竜に九似あり」といわれるように、角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、身体は蛇、腹は蜃（想像上の動物）、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛に似ており、長い髭をたくわえ、あごの下に1枚だけ逆さに生えた逆鱗（げきりん）があります。竜はこの逆鱗に触られるのが大嫌いで、触られると激高し、触れたものを即座に殺すとされています。

こうした竜の様子から、竜にまつわる言葉やことわざがうまれました。

- ・竜宮（りゅうぐう）：海の底にあるという竜王の宮殿。乙姫が住むとされ、浦島太郎の物語でも有名
- ・竜神（りゅうじん）／竜王（りゅうおう）：雨を降らせ、水を守る神。水神。
- ・雲竜（うんりゅう）：雲にのって昇天する竜。
- ・逆鱗に触れる（げきりにふれる）：（目上の方）触れてはならないものに触れ、相手を怒らせてしまうこと。
- ・竜頭蛇尾（りゅうとうだび）：初めは勢いが盛んであるが、終わりは奮わないこと。
- ・登竜門（とうりゅうもん）：鯉が滝をのぼって竜になったという古代中国の故事から、立身出世の関門のこと。鯉のぼりの由来。
- ・竜の額の珠を取る（りゅうのあぎとのたまをとる）：ある目的のために非常な危険をおかすことのとたとえ。
- ・竜の水を得る如し（りゅうのみずをえるごとし）：竜が水を得て昇天するように、強いものが一層勢いを得ること。
- ・竜の鬚を撫でる（りゅうのひげをなでる）：極めて危険なことのたとえ。
- ・竜の髭を蟻が狙う（りゅうのひげをありがねらう）：弱者が身の程を考えずに強者に立ち向かうことのたとえ。

《前半より続く》

高齢者雇用安定法の改正により、2021年4月から企業には65歳までの雇用確保の義務に加え、70歳までの就業確保の努力義務が追加されました。OECD（経済協力開発機構）が公表している「Pensions at a Glance 2021」によると、2020年の日本の平均実効引退年齢は男性68.2歳、女性66.7歳となっています。出典：厚生労働省「令和4年就労条件総合調査」
これらのことから、70歳からの生き方が「老いの速さ」「寿命」を決めると言われています。自立した晩年を過ごすためには、努力して、要介護となる時期を遅らせるために、若さを持続させましょう！平均寿命は伸びていますが、健康寿命が追付いていないそうです。長生きは出来ても、よぼよぼの期間が長い晩年にならないように「70歳からの老化」防止するためにも、地域の活動等に参加して、張り合いの有る生活をしましょう！

辰年 謹賀新年 会員の皆様にとり良い年でありますように自治会専門部一同祈念しております